

「針葉樹会報」 119号 訂正と追補

p20 16～17行目

▽ ‘35、昭5 →’ 35, 昭10

▽鷹野……の2人が →鷹野……及び森川眞三郎、榎本直司、岩崎利一の5人が

▽2日ばかりだ（前の2人は翌日岳沢へ下ったが、後の3人は前穂から槍ヶ岳まで縦走した） カッコ内追加

p43 写真説明

▽ 小林重吉を追加 →前列左から、高橋広三郎、榎本直司、小林重吉、森川眞三郎、……（以下、原説明文どおり。つまり小谷部全助は、最前列右から3人目の背広姿の人物）。

なお、この写真は、すでに昭和11年度卒業の鷹野雄一の他の積雪期初登攀者（昭10～14年）である6人（小林、小谷部、森川、船本、大塚、山田）がすべて揃っている貴重な集合写真である。

P44 下から8・9行の間に追加

▽ 1940.12/南岳（横尾本谷からと思われる。村尾、堀岡と同行。徳沢で山田らと遭遇。 p49参照）

p52 下から7行目

▽ 悪天にため →悪天のため

p59 2行目

▽ 13回のうち →14回のうち

p70 下から12行目

▽ 岩壁である右側の雪稜 →岩壁である。右側の雪稜

p76 10行目

▽ 森川慎三郎 →森川眞三郎

p77 1行目

▽ 『執念のアイガー』 →『アイガーの執念』